

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
数学 数学 I	普通科 1 年	2	高等学校 数学 I (数研出版)	4 S T E P 数学 I + A (数研出版) チャート式 新課程 基礎からの数学 I + A (数研出版)
科目の概要と目標	<p>数学 I 数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。</p>			
単元	学習内容	到達度目標		
数学 I 第 1 章 数と式	第 1 節 式の計算 第 2 節 実数 第 3 節 1 次不等式	<ul style="list-style-type: none"> 数や式の計算の基本法則を理解し、式を多面的にみたり、目的に応じて式を適切に変形できるようになる。 実数の概念や、絶対値の基本的な性質を理解する。 根号を含む式の計算ができるようになる。 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、1次不等式を事象に活用できるようになる。 		
第 2 章 集合と命題	第 1 節 集合 第 2 節 命題と条件 第 3 節 命題と証明	<ul style="list-style-type: none"> 集合の用語・記号を理解する。 命題の真偽を、集合の包含関係と関連付けて理解する。 簡単な命題を証明できるようになる。 		
第 3 章 2 次関数	第 1 節 2 次関数とグラフ 第 2 節 2 次関数の値の変化 第 3 節 2 次方程式と 2 次不等式	<ul style="list-style-type: none"> 関数の概念、グラフの意味、グラフの平行移動を理解する。 2 次関数のグラフの特徴を利用して関数の最大・最小を求めることができるようになる。 2 次方程式、2 次不等式の解を、グラフと x 軸との関係によって求めることができるようになる。 数量の関係を 2 次式で表し、2 次関数のグラフを用いてその解を求めることができるようになる。 		
第 4 章 図形と計量	第 1 節 三角比 第 2 節 三角形への応用	<ul style="list-style-type: none"> 鋭角、鈍角の三角比を理解する。 三角比の相互関係を理解する。 正弦定理・余弦定理を導き、三角形の辺と角の間を理解する。 三角形の面積、球の体積と表面積の公式を用いて、計量の計算ができるようになる。 		
第 5 章 データの分析	データの分析	<ul style="list-style-type: none"> 四分位数、四分位範囲、四分位偏差などの用語を知り、意味を理解し、それらを用いてデータの傾向を把握し説明できるようになる。 散布図および相関係数の意味を理解するとともに、それらを利用してデータの相関を的確にとらえ説明できるようになる。 		
課題学習		<ul style="list-style-type: none"> 数と式、2 次関数、図形と計量及びデータの分析の内容又はそれらを相互に関連付けた内容を生活と関連付けたり、発展させるなどして、自己の関心や意欲を高める課題を設定し、主体的に学習を行い、数学のよさを認識する。 		